

アジア開発銀行 経済調査局(ERD)

政策ブリーフ・レポート(シリーズ15)

SARS(重症急性呼吸器症候群=新型肺炎):経済的影響予測

【序論】

最近発生したSARS(重症急性呼吸器症候群=新型肺炎)は、アジアの短期的な成長予測を脅かすに至っている。2003年5月5日現在、SARS感染者は世界で6,500人を超え、重大な懸念を引き起こしている。東アジアおよび東南アジア諸国の多くは、中国と香港、シンガポール、台湾、ベトナムを含め、深刻な経済的負担を強いられる局面にある。これらの諸国・地域の程度を下回るものの、SARSの流行は、他の諸国にも影響を及ぼしている。

ここ数週間でSARS対策で有望と見られる状況が現れ、かつ、公衆衛生面の措置が改善されていることから、SARSは深刻ではあるが、経済成長への影響は、一時的なショックにとどまる、という議論の説得力が増してきた。しかし、SARSがもたらす経済的影響は短期的予測を超えるものである。SARSの影響とその対応は、多くの疑問を提起しているが、なかでも、以下の2点が重要である。

1. 死亡率が比較的低いにも関わらず、SARSがこれほど顕著に注目される理由は何か。
2. 伝染病の発生に絡む予想外の打撃に対する政府の対策はどうあるべきか。

当報告は、多くの東アジアおよび東南アジア諸国におけるSARSの経済的影響を評価し、これらの問題を探るのが目的である。

【SARSが短期的に経済に及ぼす影響】

SARSの影響が感じられる過程：

短期的には、SARSの経済的影響は、需要減退に見られる：

1. 多くの諸国・地域では、消費者の信頼感が劇的に低下し、個人消費の著しい減少を招いている。この大半は、SARSが引き起こした重大な不安感と恐怖感に起因する。市民は、感染の危険を減少させるため、外出を控えている。
2. サービス輸出、特に、観光関連、が大きな打撃を受けている。
3. 投資も、総需要の減退、不確実性の増幅、それに、リスク拡大という形で、影響を受けている。結果的に、過剰設備という事態が生じるか、あるいは、拡大するだろう。さらに、外国投資の流入も、SARSに関連して、延期ないし減少する可能性がある。

4. 政府支出の拡大で、SARSの影響を軽減することができるだろうが、広範な個人消費の減退に陥っている経済を回復させる政府の能力は、限られている。

SARSは総需要のあらゆる側面に影響を及ぼしているが、特に、個人消費への影響が最も大きい。人間が直接接触するサービス業は、直接感染に対する恐怖が拡大したことから、大きな影響を受けている。観光、運輸（特に、航空会社）それに小売業は、消費者が商店やレストラン、その他各種娯楽施設を避け、旅行のキャンセルが相次ぐなど、SARSの最大の打撃を受けている。香港やシンガポールでは、観光客の数が減少し、ホテルの稼働率が著しく低下した。ホテルは宿泊料金を引き下げたが、観光客を取り戻すには至っていない。キャセイ航空など航空会社は相当数のフライトをキャンセルした。観光は、東アジア諸国全体のGDPの9%強、東南アジア諸国全体のGDPの約11%を占める。東アジアおよび東南アジア諸国でSARSがもたらした観光への打撃の影響は、他の諸国にも現れている。

東アジアおよび東南アジア諸国にSARSの影響が最も顕著に現れている半面、(1)ウイルスとウイルス感染の拡大(2)特に観光関連のサービス業を中心とするアジア諸国の輸入需要の減退(3)不確実性の広がりによる、消費および投資意欲の減退などであり、SARSの影響は他の諸国にも及んでいる。

このようなSARSのマイナスの影響を相殺する要因があるとすれば、SARSを制御した時の個人消費の回復であろう。消費者は、消費を増やすことで、これまで控えてきた分を埋め合わせをするかもしれない。消費者の信頼感が回復すれば、国内消費は速やかに変わるかもしれないが、外国人観光客と投資家を取り戻すにはより時間がかかる可能性がある。

【SARSの影響 マクロ経済への影響想定】

SARSの影響を受ける決定的要因は以下にある：

1. SARSの深刻性
2. SARS感染の期間
3. 経済構造、特に、GDPに占めるサービス産業の重要性

最近公表された「2003年アジア開発展望」に盛り込まれた成長予測は、SARSの最も強烈な影響が2ヵ月で終わるとの想定に基づいている。2003年3月以降、多くの国で効果的なSARS封じ込め対策が実行に移されていることが、この予測の背景となっている。しかし、SARS(ウイルス)の発達と性質に関して、未回答の問題が多く残っており、これら未知の要因がSARSの影響分析を複雑にしている。未知の要因があることを前提に、二つのシナリオが考えられる。第1のシナリオは、SARSは2003年第2四半期に深刻な影響をもたらす、という想定に基づいており、二つ目のシナリオは、SARSは2003年第2および第3四半期に主要な影響をもたらす、という想定である。不確実な状況を考えれば、今後の展開を注意深く観察、かつ、評価し、状況の変化にあわせて、当初の想定を再検討する必要がある。加えて、いずれのシナリオも、ある程度の独断的判断を含んでいる。従って、それぞれのシナリオで想定される影響評価は、決定的というよりも示唆的である。

また、SARSのもたらす影響はまず、サービスの需要の減少に主に現れるだろうと想定されている。いずれのシナリオにも、サービス・セクターの成長減退は、それに相当する消費支出の自動的な減退につながる、という想定がされている。マクロ経済の影響想定は、オクスフォード経済予測モデル(OEF)を用いている。想定によると、SARSの影響が1四半期続く場合、2003年の東アジアおよび東南アジア諸国の成長は、0.2~1.8%ポイント減少する。SARSの影響が第3四半期にまで及ぶ場合は、東アジアおよび東南アジア諸国の成長は、0.5~4.0%ポイント減少する見通しである。(表参照)

この規模のGDP成長率の低下は、大規模な所得と生産の損失を意味する。いずれのシナリオにおいても、東アジアおよび東南アジア諸国において想定される所得減少の規模は、全体で123~284億ドルに達するであろう。SARSが多くの人に困難をもたらすだけでなく、医療サービスへのアクセスが限定されているが故に、最も貧しい人達および最も弱い人達の問題が深刻化する、という事実は、特に懸念すべきである。

中国や香港、台湾などいくつかの国・地域では、需要減退はインフレ低下を助長し、デフレ圧力を強める。関係諸国・地域では、需要減退はさらに、失業率の上昇を招く。サービス輸出の減少は外貨収入を減少させるが、著しい国内需要の減退によって、サービス輸入も減少する可能性がある。これは、短期的には、経常収支は悪化しない可能性があるということである。

(表) アジア主要諸国・地域におけるSARSの影響想定

国・地域	年間GDP成長率減少予測(%ポイント)		年間GDP減少予測(単位:億ドル)	
	影響が1四半期の場合	影響が2四半期に及んだ場合	影響が1四半期の場合	影響が2四半期に及んだ場合
東アジア	0.4	1.0	9.1	20.7
中国	0.2	0.5	2.3	5.8
香港	1.8	4.0	3.0	6.6
韓国	0.2	0.5	1.3	3.0
台湾	0.9	1.9	2.5	5.3
東南アジア	0.5	1.4	3.2	7.7
インドネシア	0.5	1.4	0.7	2.0
マレーシア	0.6	1.5	0.5	1.3
フィリピン	0.3	0.8	0.2	0.6
シンガポール	1.1	2.3	1.0	2.0
タイ	0.7	1.6	0.8	1.8

(資料) OEFを使用したERD(経済調査局)スタッフ試算。

【SARSの影響が強調される背景】

SARSが医学上の深刻なリスクと経済的影響をもたらす中で、低い死亡率に反比例する形で、不均衡と言える程大きな心理的影響を市民に与えている。SARSの影響が強調される背景として、SARSに関する情報の二つの側面が挙げられる。

1. 現代のメディアと通信技術の発達をもたらした、ほぼゼロ・コストかつ高速の情報伝達。
2. 不十分なSARSに関する医学情報。

情報は貴重な資源である。情報がなければ、個々人が特定の出来事の結果を正確に評価することは難しい。SARSは新しい疾病である。科学者が完全にSARSを起こすウイルスを理解するまでには時間がかかるであろう。効果的な診断と処置を開発するのはより難しく、より長い時間がかかる。その半面、SARSが引き起こす被害情報は自由に入手可能で、効果的な処置が見つからないまま、広く報道される。当然、SARSに対する危険意識は誇張される。その結果、SARSに関わる不確実性が拡大し、ある場合には、過剰反応が起きている。

【SARSおよび同様の事態に対する政府の対応】

SARSに関して政府が介入すべき側面は二つある。第1は、SARSの影響を効果的に評価するために収集かつ広報する情報は、公共の福祉に資するという性格を持つ。第2に、市場活動に反映されない形で第3者に影響を与えるという意味での、伝染病をもたらす外面性である。公共の福祉と外面性は、市場機能が及ばない典型的な領域であり、そのギャップを埋めるための政府の行動が求められる。

正確な情報の提供と収集

政府によるSARSの性質と影響範囲に関する正確、タイムリー、かつ、透明性のある情報の提供は、SARS感染を封じ込め、市民の恐怖と不安感を減少させる上で決定的に重要である。政府は、SARSの危険と感染範囲、および、入手可能な防御策に関する正確な情報を集め、広報するために、医学専門家らと密接に協力する必要がある。一般市民に危険を知らせると同時に、パニックと過剰反応を防止するというバランスのとれた対応が必要だ。今日、実用段階にある情報伝達方法は極めて高い効果があるため、情報公開の上で、明白な形で透明性を欠けば、一般市民の間で憶測とパニックを引き起こす可能性がある。従って、政府は、合理的な判断と良識に沿った行動が広がるように、影響力とカバー範囲を拡大しつつある電子メディアを活用する必要がある。

疾病の封じ込め

国境を超えた人、物とサービス、そして情報の流れが拡大するに伴って、プラスとマイナスの状況が1国で急速に展開し、他国に波及する、ということがSARSの流行で実証された。早期特定と封じ込めは決定的に重要であり、この段階で対応が遅れば、その後のコストはより大きくなる。2003年ノーベル賞受賞者バトリモーレム（薬学）が指摘しているように、市民生活の混乱を最小限に抑えるため、目標を定め、かつ、積極的な公衆衛生面の対応は、政府のリスク評価を伴う必要がある。

政府予算

SARSのような突発的な予測しえない出来事は、政府資金をひっ迫させる。同時に、その結果生じる経済活動の低下は、政府歳入の減少を招く。この状況は、疾病の予防と対策で政府支出が増加することと併せて、政府の財政事情を悪化させる。いくつかのケースでは、景気回復を図るため、積極的な刺激策が必要になる場合もある。SARSのような出来事が起こりうるということは、政府として、慎重に経済政策を運営し、経常黒字を蓄積し、かつ、予測外の緊急事態に備えた慎重な予算措置を講じておく必要性をあらためて浮き彫りにした。

ポストSARS - 長期的戦略と伝染病を対処する能力の開発

現代において、伝染病が発生したのはSARSが初めてではない。また、SARSが最後の伝染病ではない、ということも確かだ。さらに、薬に抵抗力のある病原体が現れ、また、結核のようになって駆逐した伝染病が世界的に再流行しているということは、効果的な公衆衛生措置を講じることがこれまで以上に重要になってきたことを意味する。長期的には、SARSの影響が軽微になっていくであろうが、すべての伝染病の流行に関する広範な問題を検討する方向で、注意を払うことが必要である。すなわち：

1. いかに伝染病の発生を最小限に抑えるか。
2. 政府は、そのような緊急事態に対して、いかに最も効果的に対応できるか。
3. このような事態に対応するため、いかに医療制度を強化するか。
4. 国際協力をいかに効果的に展開するか。

香港とシンガポールが比較的SARSを効果的に封じ込めたことは、公衆衛生制度の能力が、SARSのような伝染病の持続期間を短縮させる上で、決定的に重要であることを示した。公衆衛生制度を改善するほか、以下の二つの要因が特に重要である。

1. 伝染病の効果的な診察と処置を確実にすることを目的とした研究を行うためには、十分かつ適切に目標を絞った公共支出が絶対的に必要である。伝染病と感染性疾病の積極的研究に資される公共資金は不可欠である。
2. 伝染病が世界的な影響を及ぼすという観点から、各国政府は協力と調整を強化する必要がある。SARSのように、既に発生した疾病に対して共通の対策を講じる必要があるほか、先進国と、ADB加盟の途上国の中で発展段階が比較的進んでいる途上国は特に、このような伝染病を駆逐するため、先行的かつ行動的な研究に共同して取り組む必要がある。また、効果的な政策措置と、あらゆる伝染病を報告、監視、封じ込める組織的能力を開発する必要がある。

【結論】

SARSは短期的な経済成長に深刻な混乱を引き起こした。SARSの長期的影響は、関係各国

の政府が効果的な公衆衛生政策を速やかに実行できるかどうかにかかっている。伝染病に関わる外面性を考えると、関係各国政府は、伝染病を予防かつ封じ込め、さらに、速やか・かつ、効果的な診断と処置を助成する研究結果を引き出す上で重要な役割を担う必要がある。

SARSの流行は以下の点を実証した：

- 1．SARSの性質と影響範囲に関する政府による正確、タイムリー、かつ、透明な情報の提供は、一般市民に対して実際のリスクを知らせ、同時に、恐怖と不安感を減少させる上で決定的に重要である。一般市民に潜在的危険への警戒を呼びかけるとともに、危険に対するパニックと過剰反応を防止するバランスのとれた対応が必要だ。
- 2．早期の認定と封じ込めは決定的に重要であり、この段階で対応が遅れば、その後のコストはより大きくなる。
- 3．SARSは潜在的に拡大し得る多くの伝染病の一つでしかない。政府の政策は、SARS以降の可能性を視野に入れて、あらゆる伝染病に対応する政策を確立する必要がある。SARSの問題がいったん解決した後、今回SARSがもたらした危機から得た教訓を政策の確立に活用し、維持するよう努力することが必要である。特に、あらゆる伝染病の発生を最小限に抑え、緊急事態に効果的に対応し、将来、同様の状況に対応できるように、公衆衛生制度を強化する必要がある。
- 4．伝染病が世界的な影響を及ぼすという観点から、各国政府は協力と調整を強化する必要がある。先進国と、ADB加盟の途上国の中で発展段階が比較的進んでいる途上国は特に、このような伝染病を駆逐するために、先行的かつ行動的な研究に共同して取り組む必要がある。各国は効果的な政策枠組みと、あらゆる伝染病を予防・報告・監視・封じ込める組織的能力を開発する共同計画を進める必要がある。
- 5．SARS発生のような緊急事態の発生は、予告なしに起きる公衆衛生の危機に対応できるように、政府が慎重な予算管理を行う必要があることを示した。このような緊急事態に備えて、一定の資金を留保すべきである。

SARSの流行に対応する中で得られた教訓から優れた戦略が確立されるならば、世界全体としては、長期的に得るものがある。

ADB非公認の翻訳文書

本文書は、広く読者に周知されることを目的として、英語で書かれたオリジナルを日本語に翻訳したものである。ADBの公用語は英語であり、本文書の英語のオリジナルのみが唯一真正な（すなわち、ADB公認の）テキスト

トである。なお、引用の際は英語のオリジナルを引用されたい。